

電子国家エストニア

日本が学べること

バルト三国の最北に位置し、バルト海に面するエストニアは、4.5 万kmと日本の9分の1ほどの広さで人口も約133万人と小国ではあるが、最先端の「電子国家」であることから世界中から注目され、各国から多くの視察団も訪れている国である。エストニアでは、ほとんどの行政手続きをオンラインで完結することができ、また、投票などの政治においてもデジタル技術が駆使されている。このような先進的な変革を果たせたのはなぜか。そこから得られる日本への示唆は何か。本講演会では、電子国家エストニアに精通する方々をお招きし、同国についての貴重な情報に触れる機会を提供する。

2024

10/15

15:00-16:40 (4限) 成蹊大学3号館102教室

参加無料 申込不要(どなたでもご参加いただけます。)

プログラム 🗸

(敬称略)

15:00-15:10

研究所紹介・講師紹介・テーマ紹介

羽賀 由利子

(成蹊大学法学部教授・Society 5.0研究所所員)

15:10-15:30

講演「エストニア全般の紹介」

曽根原 千夏(日本エストニア友好協会理事)

15:30-15:50

講演「エストニアの電子化の歴史的変遷」

北岡 元 (元在エストニア日本国特命全権大使)

15:50-16:20

講演「エストニア政府側から見た電子化」

ラウル・アリキヴィ (元エストニア経済通信省局次長)

16:20-16:40

質疑応答・閉会挨拶

質疑応答にはリアルタイムQ&Aサービスの 利用を予定しています。

ご質問のある方は、QRコードからご入力ください (講演会当日のみ入力可能)





北岡元氏 元在エストニア日本国特命全権大使

インテリジェンス(判断・行動するために必要な知識)研究家。外務省で国際情報課長、内閣情報調査室で衛星情報センター総務課長、さらに国立情報学研究所教授、政策研究大学院大学教授などを歴任。その後在エディンバラ総領事、在タジキスタン日本国大使、在エストニア日本国大使を歴任後、2021年末に退官。現在日本・エストニア友好協会顧問。



ラウル・アリキヴィ 氏 スタートアップ起業家 元エストニア経済通信省局次長

タルトゥ大学卒、早稲田大学で修士号を取得。エストニア経済通信省では、企業の日本市場への参入支援や、電子政府技術を日本企業への導入にも関わる。エストニア発のX-road技術を使用し「データ主権」を実現するスタートアップ・Planetwayの共同設立者。共著書として『未来型国家エストニアの挑戦:電子的に開く世界』(インプレスR&D、2017年)。



曽根原 千夏 氏 日本エストニア友好協会理事

教育出版会社ベネッセに勤務。東日本大震災復興支援や瀬戸内 国際芸術祭にも携わる。現在はMOOSKA合同会社代表とし沖縄 の社会課題などを支援。1989年に当時のソ連・タリン地区に行 ったことを契機に、エストニアをライフワークとして日本での 普及を推進する。現在、日本エストニア友好協会理事、NPO法 人WORLD CLEANUP DAY JAPAN 理事などを兼任。

※詳細は、Society 5.0研究所公式ウェブサイトをご確認ください。本講演会のオンライン配信はございません。



成蹊大学Society 5.0研究所(アジア太平洋研究センター内)



